ナイスの視線で、日常の楽しみをお届けする、西成発の地域情報誌　2021

Take free!

なび

10月号
vol. 176

「いにしえから眺める」
難波宮跡公園にて撮影

特集

gutgut

⑯ つながりといざこざ

２０１８年１月からゆ～とあいは居住支援法人のなかま入り。まちの人の相談の中で「このまちの公営住宅や古い木造住宅をもっと活かさなきゃ。」そんな気持ちがふつふつあふれてくる。ヒントを探しにいろんなとこへ、いろんなひとに。

すだすだ

⑯ つながりといざこざ

生きづらさと向きあい40年

２００９年5月に仕事と住まいを失った若者たちへ緊急に「住まい」と「食」を提供しようとスタートした大阪希望館。生活に困ったとたん、選択肢が生活保護しかなかった当時、公助だけでなく、民間の力で「相談」と「仮住まい」を提供する緊急支援の場をつくろうという呼びかけに、多くの団体・個人が賛同した。それから10年を迎え、２０２０年2月にはシェアハウスこうじゅを豊中市でスタートさせた。

その仕掛け人のひとり、希望館の事務局長 沖野充彦氏は、１９７９年から釜ヶ崎で支援活動に関わり、日雇労働者・ホームレス・不安定居住者・生活困窮者など、制度の狭間で生きづらさを抱えた人々に向き合い続けている。なぜいまシェアハウスを始めたのか？そのあたりも含めて、居住支援や福祉のこれからについて話を聞いてきた。

ハブのようなハウジング

西田 シェハウスこうじゅ（以下、こうじゅ）の概略を教えてください。

沖野 立正佼成会（りっしょうこうせいかい）の学生寮を「生活困窮者や社会的に孤立状態にある人の自立を支援する共同住宅」としてリニューアルした3階建て40室のシェアハウスです。8畳ほどの広さにエアコン・ベッド・テレビ・冷蔵庫などが完備されていて、家財道具がなくてもすぐに生活ができます。家賃4万円・共益費1万円と安くはないですが、広い食堂や台所、男女別の浴室など共用部の設備は整っています。

西田 充実したつくりで、傍からみれば、各方面から支援があってこそ成り立つ物件だと思ってしまいますが。

沖野 関係者から多大な支援は受けていますが、EVやスプリンクラーもなく、高齢者や障がい者の施設として活用するには投資が必要で、狭間の物件です。そんなときに、希望館に活用の打診がありました。

西田 いきなり40室の運営と言われても、驚きますよね。

沖野 配置スタッフと収入のバランスは20室程度までは想像できるのですが、40室となるとそう簡単ではなかった。ただ、仮住まいでもなく、定住前提でもない。半年から2年程度を過ごし、次を考えられるような、中間的な住まいの必要性は感じていたので、支援はそこそこで、ある程度自立した方をターゲットにシェアハウスとして運営することに決めました。

西田 「そこそこ」ってどの程度ですか？

沖野 24時間体制は無理ですが、月～土曜日は支援員を常駐させ、見守りや金銭管理、介護や行政サービスへのつなぎのような、家族的支援を提供して

います。

西田 これまでの入居者はどこから紹介されているのですか？

沖野 開設して1年半、コンセプトを理解してくれている豊中社協や地域包括、福祉事務所などが多いですね。

これまで54人が利用し、現在は31人が入居。年代は幅広く20～80歳代の単身で、30歳代が最も多い。共通するのは、入居するときには金がないということぐらいです。見守りが必要という方もいれば、仕事をしている方もいます。

西田 1年半で23人が出ていくのは、賃貸物件としてみれば回転率が速くて気になります。

沖野 施設と一般住宅の中間的な住まいなので気にしていません。ずーっと住み続けてくれる方もあれば、介護が必要になれば老人ホームに移ればよいし、就労自立ができたら賃貸住宅に移ればよい。ありそうでなかった、ハブ機能を持った住まいという役割は果たせている気がします。

西田 安定的な経営を考えると、支援費もでる日常生活支援住居施設（日住）への転用も検討されていると思いますが。

沖野 今は考えていません。大阪には救護施設やサポーティブハウスという資源もあります。支援費は魅力的ですが、日住で支援費がでる対象は生保受給者に限定されているため、結果的に受給しない方・できない方の受け入れを狭めることにつながってしまう。自分が行政マンだったら、大阪で優先すべきは日住より救護施設の個室化を進めると思います。

家族というリスク

西田 希望館を立ち上げた2009年頃とコロナ禍の今で何か違いますか？

沖野 ネットカフェが閉鎖された1回目の緊急事態宣言の頃は、単身男性の新規利用がどっと増えました。これは2009年頃と大きく変わらず、不安定居住層に真っ先に影響が出ました。生活困窮者窓口は混乱していましたが、一時生活支援事業や住居確保給付金、社協貸付など支援策は豊富化し、野宿の急増という事態は避けられました。希望館設立時の「生活保護しかない」「大阪市の施設しかない」という状況からは脱却し、居住支援施策の選択肢はこの10年で大きく拡がりました。

とはいえ、制度が充実した背景には、困窮を余儀なくされる底辺層の拡大があります。次は単身だけでなく家族世帯の困窮に対応できるセーフティーネットの充実が必要になる気がします。

西田 家族世帯というと？

沖野 コロナ禍では飲食業でダブルワークしていたひとり親世帯やサービス業を生業としていた世帯への影響が大きいと想像がつきます。でも、家族丸ごとで相談できる窓口は思い浮かばないし、単身と比べ世帯向けの賃貸住宅は数が少ないし、子どもがいれば、簡単に転居もできません。ここまでは社協貸付や給付金でしのげていたとしても、今後を考えると家族世帯が一番気がかりです。家族を持つことは支えになる反面、リーマン、コロナという緊急事態だけでなく、安定した収入を期待できる仕事が減る中では、逆に最大のリスクになってしまうかもしれません。

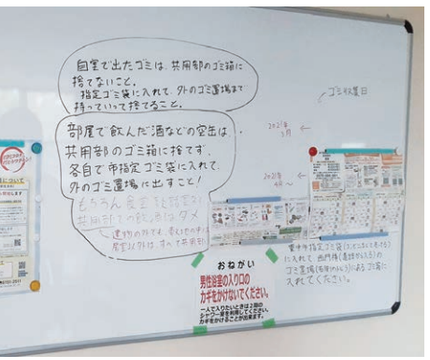
西田 確かに男性の4人に1人、女性の7人に1人が生涯未婚という現状は、若者の草食化や家族観の変化という言葉では片付けられない気がします。未婚という現象は「家族を持つことがリスク」と捉えざるを得ない、社会の困窮化をあらわす指標として注目する必要があるかもしれませんね。

専門性よりバランス感

沖野 コロナの影響で、入居者が想定よりも急増しました。ただ、年代や生活形態もバラバラな入居者同士が一気に増えたこともあり、いざこざもあちこちで起こりました。

西田 こうじゅ内でルールの啓発ビラが目立つのも、トラブル予防ですね。

沖野 そうなんです。やっぱり集団生活するうえでは共通のルールを示すことは大切です。トラブルを個別の問題として、個人の特性や困りごととして解決しようとすると、追いつきません。現状を把握し、課題を特定し、解決策を考えることも大切だとは思いますが、現場にそこまでの余力はありません。「ここまではやろう」という1つの目安をつくって、同意してもらうことが大切です。



西田 うちのシェアハウスや公営住宅でもそうですが、ちょっとした音や共用部の汚れを放置しておくと、トラブルになりかねない。個人を正すというよりも、ルールは守ろうというほうが、やりやすい。

沖野 これは高齢だからとか、困窮だからという問題ではなく、人が一緒に暮らすうえでは避けて通れないことです。つながりは大切ですが、煩わしさも伴います。だからこそ、幅広い属性の人たちを対象にする居住支援では、属性や特性に着目した福祉的な専門性よりも、バランスをとりながらトラブルと向き合えるスキルがより重要になるんではないでしょうか。おそらくそのスキルが蓄積されているのは、地域に根差して逃げずに大衆運動を展開してきた解放運動だと思いますよ。

文責：西田吉志・田岡秀朋

にしなりもん

西成にもまだまだ発掘されていない文化資源・社会資源は存在するはず。これら西成産のモノやコトを「にしなりもん」と名づけ、その由来やエピソードを辿っていきます。

やっぱり童心に帰る「お菓子のデパートつみき」

みなさんが子どもの頃、ワクワクした場所はどこですか？遊園地、おもちゃ屋さん、プールなどといろいろあるだろうが、私は遠足前にお菓子屋さんでお菓子を選ぶ瞬間がとても心躍ったことを覚えている。スーパーやコンビニが増え、まちのお菓子屋さんが少なくなって久しいが、やっぱり寂しいものである。

その寂しさのせいもあって、今回は鶴見橋商店街5番街にある「お菓子のデパートつみき」を訪ねた。店主の上田貴子さんには急な取材依頼にも関わらず、快く引き受けていただき感謝している。

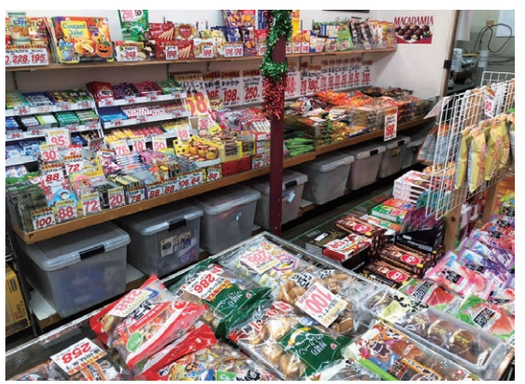
つみきは鶴見橋商店街にお店を構えて今年で30年となる。元々は上田さんのお母さまが経営されていたが、10年前に他界され、その後を上田さんが継いだ。やはりお菓子の専門店はコンビニと比べると、お菓子の種類が圧倒的に豊富。和菓子・洋菓子・駄菓子のメジャーどころから普段見かけないものまで250種類以上。そしてお買い得な値段で取り揃えられている。この日の特売はクッキーやおかきでメーカーの希望小売価格より2～3割も安い！とても驚いた！

子どもの頃の思い出と共にお菓子屋さんを訪ねた私だが、つみきのお客さんは子どもよりも高齢者の方が多いそうだ。特に和菓子が人気のようで、取材中にも数名のお客さんが来店されていた。上田さんは一人一人に駆け寄って「今日は何にする？」と丁寧に応対されていた。お客さんとは親しい間柄で「これココに置いたほうがええで」などとアドバイスをもらうこともあるそうだ。上田さんはとても優しい雰囲気をお持ちなので、それが常連さんを作っているように感じた。

ちなみに、子ども向けの某人気アニメのお菓子は、一時はすぐ品切れになるほどの人気だったが、最近は落ち着いてきているようだ。子どもは目の前の欲望に正直だ。あっと言う間に次の流行に飛び移っていく。お菓子屋もその流行に敏感でなくてはならないのだなと感じた。

「お菓子のデパートつみき」も新型コロナウイルスの影響で売り上げが大きく減少している。「でも、お菓子の小売業ならコロナの影響は少ないのでは？」と思う人が多いかもしれないが、そうではない。学校の行事やクラブ活動などがストップすると、毎年まとめて購入されていたドリンクやお菓子が売れなくなり、大打撃を受けている。少しでも売り上げを戻そうと様々な工夫を凝らして営業努力をされているが、相次ぐ緊急事態宣言の延長のせいもあって成果があらわれていないようだ。

このコーナーでは1年前にもお菓子屋さんに取材に行った。そのときもそうだったが、子どもの頃の気持ちが蘇ってきて、やはりテンションが上がってしまう。大人になったみなさんもたまにはお菓子屋に足を運んでみてはどうだろう。心は子どものワクワクのまま、つい大人買いをしてしまうかも。お菓子を買うなら「お菓子のデパートつみき」もおススメしたいお店の一つだ。



文責：山村裕太・西原夏美

お菓子のデパートつみき
住所：西成区鶴見橋2の10の29
営業時間：10時～17時
定休日：水・日

[沖田一志]久々にMac（AppleのPC）を使ってみたら新鮮で面白い。MacintoshのFinder、OSXのTerminalも残ってる。その割に見た目がiOSぽい。仕事に取りかかる前にしばらく楽しんでしまった。

[田岡秀朋]２度目のモデルナワクチン。翌日は熱もないのに身体がだるい。倦怠感とはこのことか。接種日の翌日は、予定を入れないことをお勧めします。

[谷口円]先日、早朝4:30～撮影に。虫と鳥の声がうるさいくらいに響く夜明け前の畑。携帯用蚊取り線香の匂いと山や草の匂いが心地よく、ちょっとしたリフレッシュに。眠かったけど。

おかんのため息

●おかん　やったぁ！ 金メダルおめでとう！ もう、ほんまに嬉しいわ。はぁ…。

◆息子　なんかいつもと真逆のテンション。

● そやかて、あんた、オリンピックの金メダルやで。すごいやん。

◆ 自分が獲ったわけでもないのに何でそんなに嬉しいんや？

● 少年野球の頃、清原奈侑ちゃんって年上の女の子おったやろ。その子がソフトボールの代表メンバーに入ってたやん。

◆ あ、金メダル獲ったん？ それはすごい。

● それで、奈侑ちゃんのお母さんとずっと喋っててん。ほんま、すごいなぁって。

◆ 奈侑ちゃん、すごかったもんなぁ。

● あんた、これ、憶えてるか？

◆ 花園ブルドッグの写真や。懐かしいなぁ。

● 奈侑ちゃんとあんたと華（娘）も写ってる。お母さんと「やっぱり基本はココやんなぁ。ここがあって、金メダルやん」ってずっと喋っとってん。

◆ そんなもんかね？

● あの頃は楽しかったなぁ。保護者の手弁当の野球チームやったけど、和気あいあいで、幼稚園の子にもユニフォーム着せていっしょに練習したりとか、気が付いたらお昼寝してたりとか。なんかキレイに土のお団子が並んでたりとか。ははは。可愛かったよ（笑）

◆ そうやったかなぁ？

● けどな、その頃のことが大人になったときに繋がってることがすごいあったと思うねん。あいさつとか集合時間の集まり方とか、親でなくても保護者のおっちゃん、おばちゃんから野球だけじゃなくて、いろんなことを教えてもらってたんやろうな。だから、あの子らの今があるのはそこが原点やなって。

◆ ふぅん。

● それもあるけど、やっぱり奈侑ちゃんはすごかった。ピッチャーもキャッチャーもできたし、同じ女の子らの憧れの的やった。

◆ だからかな、チームに女の子が増えてた気がする。

● 男の兄弟といっしょに練習の見学に来て、奈侑ちゃんのプレイを見て、「女の子もできるんや！」って女の子が二人入ってきた。その子らは梅中でもソフトやりはった。

◆ 華（妹）も中３まで野球、続けとったもんな。

● シニアリーグで硬式野球やってたな。華（娘）にとって奈侑ちゃんは、追いかけ続けた「憧れのお姉ちゃん」。自分のインスタで出しとった。野球をやってるところがシンプルにカッコいいし、同級生の男の子二人に勝ってるところも。で、いっぱい遊んでくれたって。私が久しぶりに会ったときは、いつもニコニコしてる優しい感じが印象に残ってるわ。大人になったんやろうな。

[安田拓也] ２人でサビキ釣りをした。籠に餌を入れては糸を垂らし、浮きが沈むのを待つ。あまり釣れた経験がなく少し億劫だったが、いろいろ貴重な時間だったと思う。意外と腕が張る。

[福井龍磨] 大正区の千島公園に聳える昭和山に登った。半世紀前、「港の見える丘」を造るため、地下鉄の建設工事で出た残土を積み上げたものらしい。この日は雨、港は煙って見えた。街はもう秋色。

たくやの ろくじょうふたま 畳間 62

ハナレバナレになった人とまち。
くらしの窓から、紡ぐヒントを探してみる。

イケフェス

秋に開催される「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪」のこと。まちを大きなミュージアムに見立て、その歴史と魅力を物語る現役の「生きた建築」たちが一斉公開される。築100年以上の中之島中央公会堂から最新のタワービルまで、その数は150を超える。普段は立ち入れない空間と細部のデザインをじっくりと味わうことができる。昨年からのバーチャル開催は初めての人に絶好の入口としてお勧め。

２年前はカメラ片手に自転車で駆け巡った。市内のコンパクトな集積がかつての勢いを体感させる。一言で言うと「遊びと工夫の宝庫」。正直なところ「財の成せる技」。でもワクワクは嘘をつかない。

伏見の芝川ビル（1927年～）はテラコッタ装飾とその佇まいが異次元。住宅も兼ねる船場ビルディング（1925年～）は、緑とコンクリートが調和する中庭から見上げた空が〝狭くて美しい〟。どちらの建築も扉をくぐると圧倒的な時間に包まれ、自然と歩を緩める。今年もPCの前だが、解説付きでゆっくり堪能しよう。（安田拓也）

※メイン期間は10月30～31日（土日）。詳細は「イケフェス」ホームページへ。

電線の地中化で、より映えた芝川ビルの外観

[西原夏美] この前、ゲーミング用のキーボードを新調したのですが、普通のと何が違うのかと思ったんです。押すときの感触やキーの配置が少し違うのと虹色に光るくらいで他は大差なかった。

[西田吉志]1997年に㈱ナイスが設立されて以降、各事業部の立ち上げや牽引してきたスタッフの話を改めて聞いてみた。僕の知らなかった話がたくさんあったし、それぞれの想いも聞けて良かったな。

葉っぱの吐見（といき）

私は草木が大好きです。とくに観葉植物には心癒されます。私と葉っぱとのお喋りを聞いてください。

「コーヒーノキの葉っぱ」の巻

ムキムキマッチョのお兄さんには
濃厚、エスプレッソ。
スレンダーボディのお姉さんには
さっぱり、アメリカン。
ハンチング帽子がお似合いのおじ様には
渋い、ブラック。
着物姿がとてもすてきなおば様には
優しい、ブレンド。
キュートで元気な子どもたちには
甘い、ミルク。
今日もいろんな人がおとずれる。
みんなの笑顔が私の栄養。
嬉し楽しい私は揺れている。

赤井まゆみ

コーヒーノキのこと
アカネ科コーヒーノキ属に属する。常緑で光沢を帯びた葉と白い花をつけ、鮮やかな赤紫・黄色の実をつける。「コーヒーの木」とも言われ人気者。花言葉は「一緒に休みましょう」。

皮算用 胸算用

にしなり隣保館の館長が日々の出来事について胸のうちで皮算用していることを語っていくよ。

9月上旬の現在、マスコミは「自民党総裁選挙」一色。だが、それで政局が大きく変わるものなのか？ 具体的に何が変わるのか読めない。1ヵ月半後に任期満了を迎える衆議院選挙に新総裁の顔が影響するにちがいないものの、やはりコロナ対策が最も重要な選挙争点だと思う。

感染防止に努めることは大事だが、経済活動がままならず市民生活は疲弊している。今後のコロナ禍の生活で非常に重要なことは、予防もさることながら、治療薬やウィルスの撲滅のための医薬品開発だろう。これまでの医薬品承認の在り方や大学と医薬品会社との関係に、政治力が働くのか？ 研究・薬品開発支援の政治主導に期待したいが、野党にも建設的な政策提案を望む。

（寺本良弘）

いい湯かげん

ベーシックインカムは是か非か

この拙文が届く頃には新総裁も決まり、コロナ禍のなか総選挙で喧しくなる。選挙の争点は「コロナ復興支援」や社会保障の再建がテーマになってもらわないと困る。維新の会はBI（ベーシックインカム）を公約にするらしい。この党が言うと、都構想のように賛否が扇情的になる。実際、その論には大阪市解体のような無謀が見え隠れしているが、BIは一考に値する。

わが国の社会保障は、安定雇用を基にする社会保険と、税を基にした生活保護を柱としてきた。しかし、生活保護者は200万人、潜在的生活困窮者は少なくとも1～2000万人という推計がある。コロナ禍で多分その数は増えている。非正規労働者が急増して、雇用保険の加入率も半数前後とさらに低くなってきた。前号の扶養照会や生活保護ヘイトなど人権侵害も問題になった。憲法25条「すべて国民は健康で文化的な生活を営む権利がある」は形骸化している。コロナ禍にあって、生活保護の弾力運用、非正規への雇用調整金の支給、特別臨時給付金の実施に対して国民は好意的だった。

そもそも、社会保障の基礎構造（ベーシック）には、介護等の「サービス保障」、生活保護などの「インカム（所得保障）」、そしてあまり語られないが、就労支援やケアマネジメント、隣保館のような総合相談などの「アセット（社会資源）」がある。しかし、複雑怪奇な「アクセス」がせっかくの社会保障さえ持ち腐れさせてしまう。これら違憲状態のベーシック（基礎構造）の改善・修復はコロナ復興支援でも重要課題だ。

実は、同和対策は住民参加と自治体主導で社会保障の総合的な改善を試みた先駆例だった。所得保障の一番は公営住宅入居と家賃減免。大半の高齢者等が低額年金または無年金だったので一時金給付もあった。保育料や教育費減免、給付型奨学金もあった。職業訓練給付や雇用斡旋もあった。まず無選別で問題をたて、次第に所得制限も導入した。隣保館は効果的にマネジメントし、住民参加の中間組織が行政をサポートした。この経験知がBIの一考を促す。

BIは社会保障の総合的な基礎構造改革の一環だ。主に所得保障（インカム）のあり方を問い、生活保護、失業保障、年金制度の改善がテーマになる。現制度の刷新でなく漸進的な改革もBI（のようなもの）だ。可能な限り「選別」しない、決して「差別」しない生活保護改革は喫緊。扶養照会の廃止。医療扶助や住宅扶助、教育扶助等、生活保護費の単独給付拡大による補足率の引き上げ。最低賃金以上の「生活賃金」を設定し、不足分を企業外措置で現金給付。国民年金保険料の免除（税負担）。難問も多いが、自治体への権限委譲で運営コストを抑制し、費用対効果の測定しながら税負担のありようと税財源の移譲等を検討する「おおさかBI」だ。

都構想では「対案は廃案」という声も多かったが、ボクは「対案は総合区」とし、都市内分権の議論が進むことを願った。BIは新自由主義政策だと排除するのも見識だが、ならばコロナ復興、憲法25条をいかに実現するのか。自治体も「BI万能」でなく対案を提案できないのか。議論は建設的であって欲しいと願う。

冨田一幸

人間のしあわせ、福祉のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これからも「いい湯かげん」のテーマ探しに出かけます。

[若松司] ニューヨークの超高層ビルに旅客機が衝突した。その瞬間をテレビ中継で見たときから20年が経った。いろんなことが変わっていて別世界にいるようだ。変化の速度が速すぎる。

[山村裕太] 漫画で逆の事象が起りがちなセリフ。「やったか！？」→「やってない。無傷」、「ここまでか…」→「絶対助けが来る」、「オレたちの冒険はこれからだ！」→「だいたい最終回」

地域の縁を心でつなぐ

松向寺さんの心の時間

「あなたに会いたくなかった。でも来て欲しい。」と女性から電話がありました。二十二歳の娘がマンションの屋上から飛び降りたのです。結婚式を楽しみにしていたはずが、まさかの喪主。

お葬式は長寿でも短命でも「天寿全う」した人生に敬意を表する儀式でもあり、死ぬことは必ずしも不幸なことではありません。でも、「子や孫」との別れは人生を変えてしまう程の「愛別離」の苦しみを背負うことになります。

死んだ子を生き返らせて欲しいと願う母キサー・ゴータミーとお釈迦様の有名な問答があります。その母は、お釈迦様の課題を通じて、人の死とは誰もが背負い乗り越えて来た苦しみであると気づき、お釈迦様が説く苦しみの根本解決の教え(仏法)に耳を傾け救われます。

星野富弘『風の旅』にも「わたしは傷を持っているでも　その傷のところから　あなたのやさしさがしみてくる」という詩があります。古今東西、別れの苦しみを抱えた人が尽きることはありませんが、「やさしさ」には心を救う大きな力が秘められているのです。

松向寺　通法

ココドコ？

ここはドコ？
わたしはダ～レ？
編集部が厳選した
「にしなり100景」
大公開！

2021年5月撮影

インパクトのある看板です。目力が強いですね。不法投棄はダメ、絶対。ココがドコだかわかった人は、ゆ～とあいの受付まで！正解者にはドリンク無料チケットをプレゼントいたします（先着10名様限り）。回答期限は10月末日、ふるってご回答ください！

［先月号の答え］千本北1丁目あたりの、西天下茶屋商店街のアーケードでした！開閉している瞬間を見てみたいものです。

ゆ～とあい

にしなり隣保館

にしなり隣保館「スマイル ゆ～とあい」は、地域コミュニティ全体が抱える課題の解決をめざす民設民営の福祉施設です。日々悩んでおられる困りごとはありませんか？お悩み解決のためにできることをいっしょに探しましょう。

なび 10月号(vol.176)
発行日:2021年10月1日(創刊日:2007年1月1日)
発行:株式会社ナイス
住所:大阪市西成区長橋3-6-33
電話:06-6563-1156
E-mail:info@nice.ne.jp
url:http://www.nice.ne.jp/

facebook

編集長:若松司
編集：沖田一志、田岡秀朋、西田吉志、西原夏美、福井龍磨、安田拓也、山村裕太（あいうえお順）
イラスト:hidarimaki　デザイン:谷口円

facebook: https://www.facebook.com/navi.nishinari/